

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	自転車を活用した諏訪の地域づくり
事業主体 (連絡先)	諏訪湖八ヶ岳自転車活用推進協議会
事業区分	(2) ②イ 諏訪湖を活かしたまちづくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,327,500 円 (うち支援金 : 1,062,000 円)

事業内容

A) サイクルスタンドの設置

自転車ウェルカム環境づくりのため、デザインを公募し、ワークショップを実施して制作したサイクルスタンドを、諏訪湖周を中心に31か所設置した。

また、設置状況を幅広くPRするため、サイクルスタンドを巡るイベントを3月に開催した。

B) サイクリングガイドの養成

地元住民や観光客をつなぐ役割としてのサイクリングガイドを養成するため、6月～8月にかけて講座を実施し、10名のサイクリングガイドを養成した。



【原田泰治美術館への
サイクルスタンドの設置】

【目標・ねらい】

- ①サイクルスタンドの設置による自転車ウェルカム環境づくり
- ②サイクリングガイド養成による地元や観光客をつなぐ担い手づくり

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

サイクルスタンドの設置やサイクリングガイドの養成により、観光関係者への自転車の受入に対する環境の整備が進んだ。

また、新聞記事等のメディアへの掲載により、一般住民への自転車活用に対するアピールができ、諏訪地域における自転車ウェルカムの機運醸成が図れた。

特に本事業で携わった住民からは、応援のコメントを多数いただいております、サポーターとして事業の下支えしてくれる人も出てきていて、まさしく地域協働での取組となっている。

※自己評価【 B 】

【理由】

サイクルスタンドの設置やサイクリングガイドの養成を通し、諏訪地域における自転車を活用した地域づくりが進んだ。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

引き続き、当初の目的であったサイクルスタンドの100台設置を進めていく。

また、サイクリングガイドを養成するとともに、自転車を活用した旅行商品(ガイドツアー)の造成を通して、諏訪地域での自転車の受入環境の整備を進め、自転車を核とした地域づくりを図っていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある